第６学年 社会科学習指導案

日　時　７月１１日（金）６校時

対　象　６年２組　２５名

授業者　奈良　諒

1. 単元名 「天皇中心の国づくり」
2. 本時のテーマ 様々な立場，側面から考えをめぐらす学びっぷり

1. 本時の授業
2. 目標

中大兄皇子らによる政治を調べる活動を通して，天皇中心の国づくりが進んだこと，生活に苦しむ人々がいたことに気付き，政治の是非について自分の考えを説明することができる。

(2)展開　３／６

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | ・教師の働きかけ　 ◎評価　 ☆支援 |
| １ 前時までを振り返る。    ２ 本時の見通しをもつ。  ３ 学習問題を設定する。    中大兄皇子たちが行った政治について調べ，自分の考えを友達に説明しよう。  ４ 政治について調べ，共有する。  ・大陸から新しい知識を学んできた遣隋使や遣唐  　使とともに天皇中心の国づくり(大化の改新)が  　進められた。  ・国に税を納めるしくみがつくられた。  ・法律(律令)によって土地や人々は国のものにな  　った。  ５ 自分の考えの整理し，説明する。  ・天皇中心の国づくりを進めたことで豪族のわが  　ままな行動が減り，よい世の中になる。  ・土地や人々が国のものになり，全国を支配するこ  　とで国がまとまるかもしれないが，今度は天皇の  　力が強くなり，それをよく思わない人が現れるか  　もしれない。  ・律令によって国(天皇)だけに富がたくさん集ま  　り，人々の生活が苦しくなるのはいけない。  ６ まとめる  国に税を納める，土地や人々を国のものにするなど，天皇中心の国をつくるための政治が行われた。  ７ 振り返る | ・聖徳太子の政治，乙巳の変について振り返らせる。  ・聖徳太子と同様に，天皇中心の国づくりが進めら  　れていくのではないか，政治の是非について自分  　の考えをまとめそうだ，という見通しをもたせる。  ・調べた内容を視聴覚映像でも確認する。  ・天皇を中心とした国をつくることが目的であった  　ことをおさえる。  ◎為政者や人々の立場に着目し，政治の是非につい  　て自分の考えを説明することができている。  　【思考・判断・表現】ノート，発言，発表  ☆「為政者(国，天皇，政治を行う人)からすると…」  　「人々からすると…」など，異なる立場，側面か  　ら政治について捉えさせる。  ・税制度の確立によって国の収入が安定した点や  　反発を緩和するために有力な豪族を朝廷の重要な  　役につけた点，税によって生活苦に陥る人々がい  　る点(「防人歌」「貧窮問答歌」)にふれ，児童の価  　値観や判断をゆさぶる。  ・５での意見交流を踏まえ，児童に自身の言葉で  　学習内容をまとめさせる。  ・本時の学習で分かったことや考えたこと，疑問に  　思ったことなどを振り返らせる。 |